

先進医療施設届出書(既存技術)(案)
(記入例)

※1 受理年月日		
実施しようとする 先進医療の名称		腹腔鏡下〇〇摘除術
管理者氏名		千代田大学医学部附属病院長 田中 太郎
先進医療 の担当医師	所属部署 及び役職	千代田大学医学部附属病院 外科医長
	氏名	田中 次郎
	電話番号	03-●●●●-△△△△ 内線〇〇〇〇 (Eメール) senshin@××××.ac.jp
事務担当者	所属部署 及び役職	千代田大学医学部附属病院 医事課企画係長
	氏名	田中 三郎
	電話番号	03-●●●●-△△△△ 内線〇〇〇〇 (Eメール) senshin@××××.ac.jp

上記のとおり、別紙書類を添えて、届出を行います。

平成 年 月 日 医療機関の所在地 東京都千代田区千代田20-1-1
医療機関の名称 千代田大学医学部附属病院

開設者氏名 千代田大学医学部附属病院長 田中 太郎 印

地方社会保険事務局長 殿

注) ※1欄には、記入しないこと。

既存別紙様式第2号

先進医療の内容(概要) (案)	
先進医療の名称	腹腔鏡下〇〇摘除術
適応症	
〇〇癌(限局性のものに限る。)	
内容	
<p>(先進性)</p> <p>腹腔鏡を用いることにより、従来の根治的〇〇摘除術と比較し、より低侵襲な手術が可能となり、患者の肉体的負担が軽減する。</p> <p>(概要)</p> <p>早期〇〇癌の患者の多くは高齢者であり、手術侵襲は身体に大きな負担となる。従来の開放手術の方法では、約20センチメートルほどの皮膚、筋組織の切開を必要としたが、本術式は腹腔鏡を用いることにより、数カ所の小切開下に〇〇摘除を行うことができるもの。</p> <p>これにより、従来の方法に比べて侵襲を大幅に低減でき、術後疼痛が少なく、より短期間で回復が可能になる。また、〇〇は骨盤内の深いところに位置しており、直視下にはなかなか視野が得られにくい部分もあるが、内視鏡によってそのような部分の視野も得ることができ、より完全な腫瘍摘除が期待できる。</p> <p>(効果)</p> <p>低侵襲な手術を行うことができ、術後の疼痛が少なく、短期間での回復が可能となる。</p> <p>(先進医療に係る費用)</p> <p>約31万円</p>	

備考 この用紙は、日本工業規格A列4番とすること。医療機関名は記入しないこと。

実施体制（その1）（案）

厚生労働大臣が当該技術を実施可能とする医療機関の要件として定めた事項についてのみ記載下さい。

先進医療 の名称	腹腔鏡下〇〇摘除術
-------------	-----------

1 実施科

外科

2 実施責任者

	所属科	役職	氏名	資格	当該診療科 経験年数	当該技術 経験年数	助手とし ての経験 症例数	術者とし ての経験 症例数
実施責任者	外科	教授	先進次郎	〇〇学会 専門医	20年	5年	30例	30例
実 施 者	外科	講師	先進六郎	〇〇学会 専門医	15年	5年	20例	20例
	外科	助手	先進七郎		10年	3年	15例	10例
	外科	助手	先進八郎		7年	2年	10例	5例
	外科	助手	先進三郎		7年	2年	10例	3例

備考 この用紙は、日本工業規格A列4番とすること。医療機関名は記入しないこと。

実施体制（その2）（案）

3 医療機関の体制

病床数	床
常勤医師数	人
診療科別の常勤医師数	
先進医療の担当科（外科）	15人
内 科	人
外 科	15人
産婦人科	人
精 神 科	人
小 児 科	人
整形外科	人
脳 外 科	人
皮 膚 科	人
泌尿器科	人
眼 科	人
耳 鼻 科	人
放射線科	人
麻 酔 科	10人
歯 科	人
病理部門	2人
看護配置	
その他医療従事者の配置	薬剤師5名、臨床工学技士3名
当直体制	各診療科当直（各科医師2名）
緊急手術の実施体制	外科系診療科は最低2名のオンコール体制
院内検査（24時間体制）	有り
他の医療機関との連携体制 （患者容態急変時）	
医療機器の保守管理体制	有り（医療機器管理室において専任の 臨床工学技士2名により保守管理）
倫理委員会の審査体制	有り
医療安全管理委員会の設置	有り
医療機関としての実施症例数	20例
その他	

備考 この用紙は、日本工業規格A列4番とすること。医療機関名は記入しないこと。

既存別紙様式第4号

先進医療で使用する医療機器及び医薬品（案）

先進医療の名称	腹腔鏡下〇〇摘除術
---------	-----------

1 使用する医療機器

医療機器名	製造販売業者名	型式	薬事法承認 又は 認証番号	薬事法承認 又は 認証上の適応 (注1)	薬事法上の 適応外使用 の該当 (注2)
超音波凝固切開装置	〇社	Z11 66S	20100BZY00 164000	外科手術において、軟組織の切離と凝固を目的として使用可能	無

2 使用する医療材料（ディスプレイ）及び医薬品

品目名	製造販売業者名	規格	薬事法承認 又は 認証番号	薬事法承認 又は 認証上の適応 (注1)	薬事法上の 適応外使用 の該当 (注2)

3 医療機器、医療材料又は医薬品が薬事法上の適応外使用に該当する場合の薬事法承認一部変更申請状況

医療機器名又は品目名	薬事法承認一部変更申請状況

注1) 薬事法承認又は認証上の使用目的、効能及び効果を記入すること。

注2) 薬事法において適応外使用に該当する場合は「適応外」、薬事法で承認された適応の範囲内の使用の場合は、「適応」と記載すること

備考 この用紙は、日本工業規格A列4番とすること。医療機関名は記入しないこと。

先進医療にかかる費用の積算根拠（その1）（案）

先進医療の名称	腹腔鏡下〇〇摘除術
---------	-----------

1 先進医療にかかる費用（患者一人当たり）

（医療機器使用料） （人件費） （医療材料、医薬品等） （その他）

19,779円 + 127,260円 + 166,000円 + 389円 = 313,400円（四捨五入）

2 医療機器使用料の内訳

機 器 名	型 式	購 入 年 月	耐 用 年 数	償 却 費	年 間 使 用 回 数
		購 入 価 格	残 存 価 格	年 間 償 却 費	1 回 の 償 却 費
患者監視装置	〇社	H6年 3月	5年	0円	245回
	××-△	6,386,000円	638,600円	0円	0円
電気メス	〇社	H8年 3月	5年	0円	245回
	××-△	1,965,961円	196,596円	0円	0円
超音波凝固切開装置	〇社	H12年 12月	5年	2,003,400円	245回
	××-△	2,226,000円	222,600円	400,680円	1,635円
内視鏡下外科手術ビデオシステム	〇社	H12年 2月	5年	円	245回
	××-△	24,695,935円	2,469,495円	4,445,268円	18,144円
麻酔器	〇社	H10年 3月	5年	0円	245回
	××-△	5,012,000円	501,200円	0円	0円
手術台	〇社	H9年 4月	5年	0円	245回
	××-△	4,532,000円	453,200円	0円	0円

（一人当たり医療機器使用料の積算方法）

1,635 + 18,144 = 19,779円

3 人件費の積算根拠

医師の平均給与の時給	2,551円
麻酔医の平均給与の時給	2,430円
看護師の平均給与の時給	1,558円
医師	4名あたり、所要時間は7時間 2,551円×4名×7時間=71,428円
麻酔医	2名あたり、所要時間は7時間 2,430円×2名×7時間=34,020円
看護師	2名あたり、所要時間は7時間 1,558円×2名×7時間=21,812円
人件費計	71,428円+34,020円+21,812円=127,260円

備考 この用紙は、日本工業規格A列4番とすること。医療機関名は記入しないこと。

先進医療にかかる費用の積算根拠（その2）（案）

4 医療材料及び医薬品の内訳

品目名称	製造販売 業者名	規格	数量	購入価	使用回数	1回当たり所要額
トロッカー	○社	サージェ ーリー10 0	1	14,500円	1回	14,500円
トロッカー	○社	サージェ ーリー20 0	1	12,500円	1回	12,500円
バルーン	○社	サージカ ル100	1	32,000円	1回	32,000円
クリップ	○社	中大サイ ズ	1	29,000円	1回	29,000円
吸引ハンドル	○社	グリップ	1	18,000円	1回	18,000円
吸引シャフト	○社	5mm	1	12,000円	1回	12,000円
エンドキャッ チ	○社	10mm	1	16,000円	1回	16,000円
鉗チップ	○社	ミニエン ドカット	1	14,000円	1回	14,000円
気腹用二酸化 炭素	○社	2.5kg	2	9,000円	1回	18,000円
そ の 他	—	—	—	—	—	円
合 計						166,000円

注) 1回当たり所要額が1万円未満のものは一括して「その他」欄に記入すること。

5 その他の内訳

--

備考 この用紙は、日本工業規格A列4番とすること。医療機関名は記入しないこと。

先進医療施設届出変更申請書(案)

(記入例)

※1 受理年月日		
実施しようとする 先進医療の名称		腹腔鏡下〇〇摘除術
管理者氏名		千代田大学医学部附属病院長 田中 太郎
先進医療 の担当医師	所属部署 及び役職	千代田大学医学部附属病院 外科医長
	氏名	田中 次郎
	電話番号	03-●●●●-△△△△ 内線〇〇〇〇 (Eメール) senshin@××××.ac.jp
事務担当者	所属部署 及び役職	千代田大学医学部附属病院 医事課企画係長
	氏名	田中 三郎
	電話番号	03-●●●●-△△△△ 内線〇〇〇〇 (Eメール) senshin@××××.ac.jp

上記のとおり、別紙書類を添えて、届出を行います。

平成 年 月 日 医療機関の所在地 東京都千代田区千代田20-1-1
医療機関の名称 千代田大学医学部附属病院

開設者氏名 千代田大学医学部附属病院長 田中 太郎 印

地方社会保険事務局長 殿

注) ※1欄には、記入しないこと。